

一人一人に応じた教育で 豊かな個性を育もう 一人一人がきらきら輝こう

新居浜市では、一人一人の教育的ニーズを把握し、その子どもに応じたかわり方を考え、もてる力を高めていくための「特別支援教育」に取り組み、「個を尊び、地域でともに育ち、学び、働き、暮らす仕組みづくり」を目指します。



イラスト：あーさ（『めざせ！ポジティブ ADHD』著者）

子どもの健やかな成長と発達をサポートします！！

新居浜市では、すべての保育所、幼稚園、小・中・高等学校等において、一人一人の教育的ニーズを把握し、その子に応じたかかわり方を考え、もてる力を高めていくために支援しています。

生活や学習面で気になる様子やつまずきを抱える子どもたちが将来自立し、社会参加するために必要な力を培うため、「周りの環境を整える支援」「つまずきに応じた支援」「自尊心や達成感が得られる支援」を関係機関と連携、協力して行っています。

発達課題や様々な特性があっても、毎日自分らしくいきいきと過ごせるように、保護者や地域の方々と共にサポートしていきます。



お子さんのこんなこと、気になっていませんか？

このような特徴、困り感のある子を支援します

ことば

- ことばが少ない
- 発音できない音があったり、はっきりしない音があったりする
- 助詞を使わず、単語で話すことが多い
- 話すとき、つかえたり、同じことばを繰り返したりする
- 特定の人の前や場所で話すことができない



聞く

- 名前を呼んでも返事をしないことがある
- 聞こえていてもことばの意味が、理解できにくい
- 何度も聞き返すことが多い
- 音を聞き分けることに苦労する
- いくつかの指示を一度に言われるとすぐ忘れる

話す

- ことがらを整理して話すことが苦手である
- 会話が一方的である
- 順序立てて話すことが苦手である
- 話の中でよくことばに詰まる



読む

- 音読がたどたどしい
- 文字や行をとばしたり、読みまちがえたりする
- 「勝手読み」などをして、正確に読めない
- 文章の内容を理解することが苦手である

計算・推論

- 九九が覚えられない
- 位取りや繰り上がり、繰り下がりが分からない
- 文章問題が分かりにくい
- 図形の違いが分かりにくかったり、混乱したりする

運動・動作

- 姿勢がくずれやすい
- なわとびやボール運動など手足の動きが合わない
- 絵や図形を描くことが苦手である
- 物をつくる、道具を使う、楽器を演奏することが苦手である

行動面・対人関係

- 視線が合いにくい
- 落ち着きがなく、よく動き回る
- 気が散りやすく、注意が持続しにくい
- ひとりでいることが多い
- 友だちとうまく遊べない
- 手遊びが多い
- 人によくちょっかいを出す
- 感情の起伏が激しく、かんしゃくを起す
- 結果を考えず行動する
- 忘れ物が多い
- 整理整頓が苦手である
- 新しい場面や刺激の多い環境では、どうしてよいか分からなくなる
- 自分なりのこだわりがあり、変更を嫌がる
- 場の空気、相手の顔色、ことばの裏にある意味などが読めない
- 宿題に時間がかかる

書く

- 文章を書くのが苦手である
- 文字の形が整わない
- 文字や行をとばすことがある
- 板書を書き写すことが難しい



このような取組を行っています

■ 保護者や家族の方からの相談に応じます。



(個別相談)

- 発達に関すること
「ことばの発達が遅れている」「マイペースで人とのかかわりが乏しい」など
- 集団生活に関すること
「友だちとうまく関われない」「集団から外れる」など
- 学校生活に関すること
「学習に特有の困難さがある」「仲間との関係がつかれない」「授業に集中できない」など
- 就園、就学や就労に関すること
関係機関と連携した支援会議につなぐこともできます。

(就学前の幼児さんの教室に向けた相談)

- ことばの発達が気になる（「ことばの数が増えない」「ことばの理解が心配」など）
- コミュニケーションが取りづらい（「自分の気持ちや要求が伝えられない」「一方的に話す」「落ち着きがない」「かんしゃくを起こす」「聞くことが苦手である」など）
- 集団の中では落ち着かない（「別の部屋に行ってしまう」など）
- 活動を終わることがなかなかできない（切り替えが難しい）
- 新しいことに対する不安が強い
- 上手に発音ができない（幼児ことばを含む）
- 話すリズムがうまくいかない（「同じ音を何度も繰り返す」「音を長く伸ばす」「話しにくそう」など）
- 聞き返しが多い、しっかり聞こえているか心配である

(小学校入学に向けた相談)

- 5歳児就学相談
小学校入学に向けて、相談員が保育所・幼稚園を訪問し、担任の先生を交え、相談を行います。

保護者の方の希望があれば、在籍する園へお申し込みください。（詳しくは11P）

○ 次の相談についても、こども発達支援センターで行っています。希望があればお問い合わせください。

（聴覚障がい児相談）

聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心をもって自立した生活ができることを目的として、月 1 回県立松山聾学校教諭が相談に応じております。

聴覚の発達の相談、聴覚の発達に必要な指導、療育（手話等）に関することや保護者への支援及び通所機関への助言と支援を行っています。

（愛媛県発達障がい者支援センター（あい♡ゆう）巡回相談）

「あい♡ゆう」の職員が、発達障がいのある者（疑いがある場合も含む）及び、その家族並びに関係者に対して支援を行うことによって、発達障がい者等への支援体制の充実を図ることを目的に定期的に県内を巡回しています。

新居浜市ではこども発達支援センターを相談場所として、年3回実施しています。

◎ 予約制となっています。まずはご連絡ください。

直接、または在籍している園を通じて、こども発達支援センターへご連絡ください。

お子さんの実際の様子と保護者の方からお話を伺ったうえで、お子さんに合った支援・療育等について一緒に考えます。

■ 支援者にアドバイスします。

（巡回相談）

障がいや発達に課題のある子どもへのかかわりは、できるだけ早期から対応することが大切です。保育所、幼稚園、小・中・高等学校等などの集団生活の中で、保護者・保育士・教職員等の何らかの気づきを適切な支援につなげていくために、臨床心理士、カウンセラー等の専門家が園や学校へ訪問し相談を行い、支援のアドバイスをいたします。

■ 障がい児（者）の理解促進と支援者のスキルアップに努めます。

（講演会・研修会の実施）

障がいがあっても、いきいきと安心して生活できる地域づくりのためには保育者や教職員等の支援者や地域の方々の理解が不可欠です。周囲の理解と適切な支援があれば、どの子ども幸せに生活することができます。支援者、保護者や地域の方々に理解していただくために講演会を実施し、支援のネットワークの拡大に努めています。

また、乳幼児期や学童期に関わるすべての保育士や教職員等が特性を理解し、子どもの困っている様子に気づき、全園、全校体制でユニバーサルデザインの授業づくりに取り組むことが重要です。ひとりの子どもに有効な支援は、すべての子どもたちに有効です。保育士や教職員等のスキルアップのため研修会を実施しています。

■ 早期発見・早期支援に向けて関係機関と連携します。

（地域発達支援協議会の設置）

発達に課題のある子どもの早期発見・早期支援のために、関係機関の連携とライフステージに応じた総合的な支援のあり方について、「地域発達支援協議会」において協議します。学校卒業後までを視野に入れた一貫した支援体制づくりを行うため、乳幼児期・学齢期における支援、関係機関との連携方策、発達支援推進体制、就労・地域生活支援等について検討していきます。

■ 関係機関と情報を共有します。

（新居浜市サポートファイル「にっこ♡にこ」（個別の支援計画）の活用）


子どもたちを保護者の方と共に支援していくためのファイルです。一番のサポーターである保護者と在籍している園、学校の先生等と一緒に作成します。障がいや発達に課題のある子どもを支える関係機関は教育・福祉・医療・労働など様々で、子どもの成長とともに変化していきます。そのために、かかわりのある機関と情報を共有し、将来に向けて機関が連携しながらできる支援をしていくためのものです。

また、進学や就労等のライフステージが変わる時に支援の方法やこれまでのかかわりを引き継ぐことができ、安心して新しい環境の中でスタートできるためのものです。

作成を希望する場合はご相談ください。




新居浜市サポートファイル
「にっこ♡にこ」




子どもたち一人一人が、輝かしい笑顔があふいてほしいと願いが込められているようにお顔を見て笑顔になってくれるサポートファイルです。
保護者や本人の希望に応じて作成し、教育・保健・福祉・医療・労働などの関わりのある機関と連携も実施し、情報に気づき合い方向を目標し支援していくためのものです。
また、希望や状況のステップアップ時には支援の方法や中々までの変更も引き続き行うことができ、安心して暮らす環境の中でサポートできます。

「にっこ♡にこ」とは・・・

新居浜の子ども・若者のこ「にっこ♡にこ」と
ひとりひとりの子どもがいつまでも
「にっこ♡にこ」の
笑顔で輝く





イラスト：あーと 写真：あまのり / 477ファイルADHD研究会

新居浜市教育委員会

サポートファイル「にっこ♡にこ」 【様式1】

1. 児童の氏名 記入日 年 月 日

氏名	ふりがな	学校・園名	年 級
	姓() 名()	学年行方	年 月 日
性別	男() 女()	転入月日	年 月 日
	家族構成	氏 名	性別 年齢
電話番号	自宅		
	携帯		
保護者名	(姓・名)		
職 務 先			

2. 幼児・児童・生徒の発達段階における課題

項目	目下のこと・留意なこと	懸念のこと・留意なこと	これまでのサポート状況

3. 教育歴

教育機関・機関名	学年	年 月	年 月
保育園・幼稚園・認定こども園	名称	年 月	年 月
小学校	名称	年 月	年 月
中学校	名称	年 月	年 月
高等学校	名称	年 月	年 月
その他	名称	年 月	年 月

4. 居住歴 (氏名・年齢・アレルギートラック) 【様式2】

氏名	生年月日	別居先 (病名・アレルギー・アレルギー)
年 月 日		
1. 氏名 (小姓)	別居先 ()	
年 月 日		
2. 氏名 (小姓)	別居先 ()	
年 月 日		
3. 氏名 (小姓)	別居先 ()	
年 月 日		
4. 氏名 (小姓)	別居先 ()	
年 月 日		

5. 今までの疾患・発達の問題と相談や療育の経過

学習障害の状況	発達なし () あり ()	15/12/27
認知機能の状況	発達なし () あり ()	15/12/27
認知機能の状況	言語機能 () 非言語機能 ()	
認知機能の状況	発達なし () あり ()	15/12/27
認知機能の状況	言語機能 () 非言語機能 ()	
認知機能の状況	発達なし () あり ()	15/12/27
認知機能の状況	言語機能 () 非言語機能 ()	
認知機能の状況	発達なし () あり ()	15/12/27
認知機能の状況	言語機能 () 非言語機能 ()	

6. 併存している課題

学習障害 () 言語機能 ()	認知機能 ()	15/12/27
認知機能 ()	言語機能 ()	15/12/27
認知機能 ()	言語機能 ()	15/12/27
認知機能 ()	言語機能 ()	15/12/27
認知機能 ()	言語機能 ()	15/12/27
認知機能 ()	言語機能 ()	15/12/27
認知機能 ()	言語機能 ()	15/12/27
認知機能 ()	言語機能 ()	15/12/27

7. 今までの発達に関する相談や療育の経過 【様式3】

機関名	内 容	担当 氏名
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		
	15/ 年 月 () 年 月 () 年 月 ()	氏名 ()
担当者		

① 個別の支援計画（目標支援シート）

次のステップまで（2～3年）の支援について見えるシートです。
 （作成メンバー）： 年 月 日

子どもの氏名	サポート名	担当	年 月 日
姓 名	姓	名	年 月 日

② 現在の状況

性別	
年齢	
行動能力 （自立・コミュニケーション）	
認知・言語 理解	
本人の希望（興味関心）	保護者の希望

③ 目標支援シート

学習・社会性・生活	活動・生活技能
言葉	認知・理解
職業・活動実践・体験学習（フィールド）	学習・理解

④ サポートファイルロビー配布先

[]

① 支援目標・支援計画

各機関が具体的な目標計画を立て、支援を実施していく事となります。

支援の目標
（1）（2）（3）

必要な支援内容 （1）（2）（3）（4）（5）	実施機関 支援者	実施方法

② 実施したい期間
 実施日時： 年 月 日 実施メンバー： []

実施したいコース	実施・協議内容	実施事項

実施日時： 年 月 日 実施メンバー： []

実施したいコース	実施・協議内容	実施事項

■ 適切な支援を行います

（発達検査の実施）

子どもの適切な支援のために、臨床心理士による発達相談、発達検査を行うことができます。お子さんの発達の特徴やバランス、得意なところや苦手なところを把握し、具体的な支援方法やかかわり方を一緒に考えます。また、お子さんの状態に応じた学習方法を考える手がかりにすることができます。

就園前・就学前のお子さんのために！

就園・就学にあたって、知っておいてほしいこと

子どもは園や学校での集団生活の中で、学習面や生活面でいろいろなことを学びます。

- 毎日の園・学校生活が楽しいと感じてもらいたい！
- 「わかる」楽しさや「できる」喜びを知ってもらいたい！
- 友だちと遊ぶ・人と関わることの楽しさを知ってもらいたい！
と、願っています。

こども発達支援センターでは、子どもの育ちをサポートするため、園や学校と連携し、就園、就学に関する相談や、就学前の幼児さんを対象にした教室を行っています。



就学前の幼児さんのための教室・相談



1 個別教室



大人との1対1のかかわりを中心に、人と関わることの楽しさを経験したり、コミュニケーションの土台を育みます。

【対象児は？】

おおむね2歳前後～就学前までの子ども（幼稚園、保育所に通っていても可）
親子通園

【どんなことをしているの？】

- 好きな活動や体全体を使った活動を通して、体づくりや遊びこむ力を育む支援
- 人と関わることの楽しさを感じたり、自分の気持ちや要求を表現できるような支援
- グループ活動支援（目的に応じて）



2 小集団教室



小集団療育を中心に、安心して活動できる体験を通して、人と関わることの楽しさや「できるんだ」という気持ちを育みます。

【対象児は？】

おおむね2歳前後～就学前までの子ども（幼稚園、保育所に通っていても可）
親子通園

【どんなことをしているの？】

- 環境を整えることで、安心して見通しをもって活動できるための支援（「どこで何をするか分かりやすくする」「時間の流れを知る」「始まりと終わりを明確にする」など）
- 自分の気持ちや要求を表現できるような支援
- 人と関わるのが楽しいと思える体験や自発的にできることの体験を増やす支援
- 専門指導員による相談

3 構音指導・ソーシャルスキルトレーニング（SST）



ことばをはじめとした発達を促すために、“今できること”を保護者の方と一緒に考え、一人一人に応じた支援を行います。

【対象児は？】

おおむね5歳前後、就学前の子ども

【どんなことをしているの？】

- 発音の練習：話す時にことばが出にくかったり、話し方や発音がはっきりしないお子さんに、発音に必要な正しい舌の位置や構えを楽しく練習する。
- 個別SST：ことばやコミュニケーションの発達が気になるお子さんに、聴く力、見る力、応じる力を育てる教材や遊びなどを通して、ことばの概念、理解の向上への援助を行う。





小学校に入学する前に知っておいたらいいこと

1 小・中学校

● 通常の学級	学校支援員（小学校）による支援 ……必要に応じて学習支援を行います。
(通級指導教室)	通級による指導 ……詳しくは13Pを参照 一人一人のニーズに応じて、週1～8時間または月1時間、個別にまたは小集団で指導を受けることができます。 (通級による指導の時間は、在籍する通常の学級の授業時数と同じ扱いになります。)
● 特別支援学級 (知的障がい、自閉症・情緒障がい、弱視、難聴など)	少人数(8人まで)の学級で一人一人に合った教育課程のもと学習や生活の力をつけていきます。 通常の学級において、本人に合った教科を学習することができます。(交流及び共同学習)

2 特別支援学校

●新居浜特別支援学校 (普通科・産業科) (小学部・中学部・高等部)	特別支援教育を専門とする教員により、より専門的で、きめ細やかな指導・支援のもとに学校生活や学習が進められています。
●新居浜特別支援学校 みしま分校(普通科) (小学部・中学部)	
●新居浜特別支援学校 川西分校(普通科) (小学部・中学部・高等部)	肢体不自由部門として、住み慣れた地域で一貫した専門的教育が提供されるようになっています。
●その他の県立特別支援学校	松山盲学校、松山聾(ろう)学校、しげのふ特別支援学校、みなら特別支援学校、みなら特別支援学校松山城北分校、今治特別支援学校、宇和特別支援学校
*訪問教育	障がいのため特別支援学校等に通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、特別支援学校等の教員が家庭、児童福祉施設、医療機関等を訪問して行います。
●愛媛大学教育学部附属特別支援学校	



学校を見学しよう

- 学校へ行こうデー（日）や各学校に直接連絡して見学をすることができます。
- 特別支援学校では、幼児体験学習の機会があります。（6月、10月頃）
*日程等については、特別支援学校、各園またはこども発達支援センターでご確認ください。

子どもに合った環境が大切！！

- お子さんがよりいきいきと生活し、学習できる環境となっているか
- お子さんの将来の自立や就労を見据え、長期的な視野で捉えているか
- 通学区域外の学校の場合は、地域とのつながりや登下校について考えているか



小学校入学まで

入学前に心配なこと、知りたいこと、疑問に思うことは、こども発達支援センターや相談機関を利用したり、直接就学する学校へ行き相談したりすると、親も子も安心！！

時 期	内 容
随時	● 学校の見学（学校へ行こうデー（日）の利用） <u>学校教育課のホームページに掲載しています。</u>
4月	● 保育所、幼稚園で発音検査
5月	● 5歳児就学相談の申し込み 就学について相談したいことがあれば、保育所・幼稚園の担任へお申し込みください
6月頃	● 幼児体験学習（特別支援学校） 各園から申し込み
7月 8月	● 5歳児就学相談（市） 相談員が訪問し、担任の先生を交え、就学について相談を行います。 希望があれば、在籍する園へお申し込みください。 <u>*学校生活における人的支援、施設についても相談ください。</u>

9月 ～	<ul style="list-style-type: none"> ● 就学についてのアドバイス 就学相談をされた保護者の方へこども発達支援センターからアドバイスをさせていただきます。 このことを参考として、お子さんに合った就学先（特別支援学校入学、特別支援学級入級、通常の学級等）を決めていきます。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 就学時健康診断の通知 入学を予定している学校（校区）で受診します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>健康診断において、心配なことや学校に知らせておきたいことがある場合は、事前に学校へ相談されると、お子さんに合った対応をさせていただきます。</p> </div> <p>＊転出予定の場合も健康診断を受けましょう。</p>
10月 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ● 就学時健康診断の実施（各小学校）
1月 末	<ul style="list-style-type: none"> ● 就学通知書の確認 教育委員会から「就学通知書」が送られてきますので就学する学校名をご確認ください。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ● 物品の販売会の実施 入学する学校で、入学に必要な物品の購入をします。 体験入学を実施する小学校もあります。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学する小学校との相談 <u>定期的な教育相談の依頼もできます。</u> <u>必要に応じ、入学式のリハーサルも可能です。</u>
4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校入学

相談したいことがあれば、こども発達支援センターへご連絡ください

入学後のお子さんのために！

入学してからも、知っておいてほしいこと

入学後も、一人一人の教育的ニーズを把握し、もてる力を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な支援を行います。

お子さんの困っている様子に気がつかれたら、学級担任や特別支援教育コーディネーター担当教員にお気軽にご相談ください。

- 巡回相談の実施
こども発達支援センターから学校を訪問し、担任の先生を交え相談することができます。
(学級担任へお申し込みください。)
- 県の巡回相談を受けることができます。(学級担任へお申し込みください。)
- 定期教育相談、支援会議につないでいくことができます。



入学後のお子さんのための教室



1. 小・中学校の通級指導教室

ことばや学習、行動、コミュニケーションや社会性などについて、個別または小集団による指導を受けることができます。

通常の学級に在籍し、一人一人のニーズに応じ、週1～8単位時間または月1時間程度、指導を受けることができます。

新居浜市では、これらの小中学校に設置されています。(平成31年度)

	学 校 ・ 教 室 名
小学生対象	◇ 宮西小学校 「ことばの教室」：(構音指導等) 「まなびの教室」
	◇ 高津小学校 「ステップ教室」
	◇ 中萩小学校 「まなびの教室」
	◇ 角野小学校 「学びの教室」
中学生対象	◇ 東中学校 「まなびの教室」
	◇ 中萩中学校 「ほっとルーム」

【どんなことをしているの？】

- 正しい発音ができるように指導します
- ことば・コミュニケーションの力を伸ばします
- 基礎的な学力につながる力を培います
- 不安や緊張を和らげ、情緒の安定を図ります
- 対人関係の改善を図り、社会性を伸ばします
- 集団活動のためのスキルや態度を育てます



【指導の期間は？】

目安は 1 年間です。開始と同時に保護者と本人と担任で、指導目標を立てます。目標が達成できると、通級指導教室での指導は終了となります。

【サポート体制は？】

児童・生徒の在籍する学級担任が、通級指導教室担当教員と定期的に情報交換を行い、連携協力を図っています。

【通級による指導を希望される場合は？】

学級担任、特別支援教育コーディネーターまたはこども発達支援センターにご相談ください

♡ 就学先や学校生活のことについては個々の状態によって変わってきます。ご心配な点や分かりにくいことは、ぜひご相談ください。

新居浜市教育委員会事務局発達支援課（こども発達支援センター）

住所 〒792-0023 新居浜市繁本町8番65号

TEL (0897) 65-1302

FAX (0897) 32-6822



♡ 就学について相談ができる機関

小学校・中学校

巻末

新居浜特別支援学校

31-6656

新居浜特別支援学校川西分校

31-1121

特別支援学校、盲学校、聾学校

あい♡ゆう（愛媛県発達障がい者支援センター）（東温市）

089-955-5532



新居浜市の公立幼稚園・小・中学校一覧

	園・学校名	住所	TEL
幼稚園	神郷幼稚園	郷3-8-16	45-0170
小学校	新居浜小学校	新須賀町3-1-58	37-3061
	宮西小学校	宮西町5-56	33-8940
	金子小学校	久保田町1-3-57	37-2221
	金栄小学校	西の土居町1-5-1	37-2313
	高津小学校	宇高町2-13-7	37-3754
	浮島小学校	八幡2-2-65	33-1020
	惣開小学校	王子町1-3	37-3401
	垣生小学校	垣生1-5-38	45-0186
	神郷小学校	神郷1-1-1	45-0082
	多喜浜小学校	多喜浜5-7-34	45-0142
	泉川小学校	岸の上町1-13-68	43-4145
	船木小学校	船木4299-1	41-6260
	中萩小学校	中萩町6-61	41-6225
	大生院小学校	大生院1070-1	41-6627
	角野小学校	中筋町2-7-10	43-7141
	別子小学校	別子山甲358	64-2167
中学校	東中学校	東雲町1-4-23	37-1294
	西中学校	江口町7-1	37-2021
	南中学校	庄内町2-4-47	37-0310
	北中学校	宮西町5-81	33-9135
	泉川中学校	星原町7-8	43-5800
	船木中学校	船木甲3754-1	41-6347
	船木中学校ひびき分校	船木甲2971-1	31-7645
	中萩中学校	中萩町13-31	43-5131
	大生院中学校	大生院1070-2	41-6927
	角野中学校	宮原町11-51	43-6108
	川東中学校	神郷2-4-1	45-0180
	別子中学校	別子山甲358	64-2115